

平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

「オッドーミアンチェイ州ソムラオン郡ドントン橋建設計画」 完成式典開催

平成29年1月18日（水）、平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力（供与限度額90,350米ドル）により建設された橋の完成式典が、オッドーミアンチェイ州で開催されました。右式典には、オッドーミアンチェイ州からソー・タビー知事、ヤム・テン州議会議長、日本国大使館から千葉書記官が出席して祝辞を述べるとともに、関係者、地域住民等約300人が参列しました。



本案件では、オッドーミアンチェイ州ソムラオン郡において、周辺に住む約3,400人の生活道路橋として大きな役割を果たしていたベリリー橋を、コンクリート橋（幅7m×全長15m）に架け替えました。コンクリート橋が建設されることで、地域住民が安全に学校、病院、市場にアクセスできる他、農作物の輸送活性化による貧困削減等の効果が期待されています。

式典ではオッドーミアンチェイ州公共事業運輸局長による事業報告に続き、千葉書記官がスピーチを行い「この橋が学校や病院、市場へのアクセスを容易にするとともに、農作物の輸送活性化に寄与することを期待する。また、州公共事業運輸局により道路が長きにわたって適切に維持管理され、カンボジアと日本の友好関係のシンボルになることを願う。」と述べました。

続いてソー・タビー知事が日本国政府への感謝の意を述べるとともに「日本は、カンボジアにおいて人々の貧困削減のため、インフラ整備や学校建設、病院への支援など草の根レベルで多くの支援を行っている。この橋が長く地域住民に使われるように、州公共事業運輸局とともに適切に維持管理を行っていく。」と述べました。その後、完成したばかりの橋上でテープカットを行い、式典は無事終了しました。



式典会場の様子



千葉書記官、ソー・タビー知事、ヤム・テン州議会議長



スピーチを行う千葉書記官



スピーチを行うソー・タビー知事



来賓によるリボンカット



新しく建設された橋を視察する来賓と関係者



橋上での記念撮影



橋の全景と式典会場